

## 「じゃがいものうち」通信 NO.62 2009.9.17

～障害者と共に生きる仲間たち～

NPO法人「じゃがいものうち」

〒891-4404 鹿児島県熊毛郡屋久島町尾之間136-6

Tel.Fax/0997-47-3588 E-mail/npo-jaga@po.minc.ne.jp

URL:http://www.minc.ne.jp/~npo-jaga 代表 松田 正



[ 豚味噌作り ]

## 政 権 交 代

ようやく代わりましたね。まじめに働いても生活出来ない社会にしてしまったのですから無理もありません。社会保障費抑制に関しては「骨太の方針06」の会議の際こんなことを言っていました。「歳出をどんどん切り詰めていけば『やめてくれ』と言う声が出てくる。『増税してもいいから、必要な施策をやってくれ』と言う状況になるまで、徹底的にカットしないといけない」と。そんな調子でこの社会をずたずたにされてしまったのですから遅すぎたように思います。

社会福祉制度というのは、生活上の諸問題を解決することを通じて尊厳ある生活を実現すること、つまり人間らしく生きる権利を保障することのはず。

今回の政権交代でこれから期待できることを、福祉面で例を挙げると、

障害が重くなるほど大きな負担を強いられる『「障害者自立支援法」を廃止して、障がい者福祉制度を抜本的に見直す』としていること。

年齢で差別する制度『後期高齢者医療制度を廃止し、国民皆保険を守る』としていること。

『子育ての経済的負担を軽減し、安心して出産し、子どもが育てられる社会をつくる』ために『年額31万2000円の「子ども手当」を創設する』としていること。

一般の労働賃金に比べて6割と言われている『介護労働者の賃金を月額4万円引き上げる』としていること。などです。(『内はいづれも民主党のマニフェストより引用)

このようなことが実現すれば、随分と住みやすい社会になっていくと思います。大きな期待を持って見守っていききたいものです。

(松田正)

## 福祉って何？

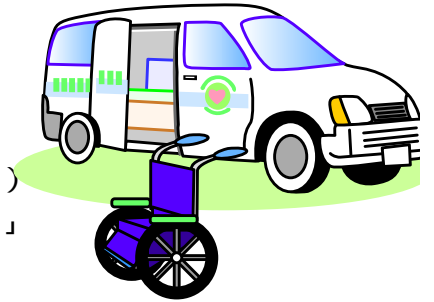
先日、「福祉ってなんですか？」と小学生に質問されました。大人としてちゃんと答えようと必死に言葉を探している自分を感じつつ、「他人を思いやる優しさの事です」と言ってしまいました。後々よく考えてみると何か的を得ていないと悔やんでいます。

普段当たり前に使っている「福祉」、改めて考えてみると結構漠然としていて、「こうだ」と言い切れないものがあります。そこで「福祉」をより明確に出来ればと、いろんな人の意見を聞きながら皆様自身の感じていることを、あらためて振り返って頂こうと今号の通信のテーマとしました。

今回は、「じゃがいものうち」の会員の方にお聞きしました。

「他人を思いやる優しさ」それでいいと思います。

もし私が小学生に答えるならば、「人は誰にでも幸せになる権利があります。だから、幸せになるために困っている人に手を貸したり、知恵を貸したり、また、自分が困った時には（今は困って無くてもこの先はわからないんだよ）助けてもらうこと。『お互いにありがとう』が福祉の気持ちじゃないかな...。」と答えます。



全ての人々が幸福で、安定した社会生活を営むことができるようなやさしさと思いやりの心。

社会生活の中での思いやり、生きる過程での思いやり、人生における思いやり。

それは「こころ」と言えないだろうか。

全ての人々の幸せを願って、多くの先駆者の熱い思いが多くの人を動かし、共感となって周囲に広がり、行政への橋渡しをしているいろいろな制度になってきた。最終的には、国の責任において憲法25条の基本的な人権として定着し、今日に至っている。

全ての国民は健康で文化的な最低限度の生活をする権利を有するはずの制度が不安定となり、救済を求める声が増しに高まっている。これを人間の尊厳を大切にす暖かい心で修復しながら基本的な人権が文字どおり国の責任として、実施されることが望ましい。

福祉は、全て行政でやってくれる物ではなく、私達が人として、生きる権利として高める事によって光を増し、人々の生活を安定させ、豊かにさせていくものではないだろうか。

憲法第25条 \*基本的な人権\* に社会権の中の生存権として、

「すべて国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」

広辞苑：「幸福。公的秩序による生活の安定、充足」

福祉の語源「福は富なり、・・・神の恩恵によって恵まれること」

「祉は、神がそこに足を止めたもうの意味」

中国の「易林」という古典で、福祉という言葉が「天の恵みによって幸せな生涯を全うして喜ぶこと」の意味に用いられているという。

「祉」という字を解字すると「示」+「止」（足を、そのしるしとしてとめる）。「示」は、しめす。また「くにつかみ」と読んで、地の神。祭壇に祭る神。



次号では、様々な職域の方にそれぞれの「福祉」をお聞きしようと考えています。

# みんなのおうちコーナー

## 利用者さんの声

昨夏「みんなのおうち」がはれて開所した頃、自分が支援を受ける立場になるうとは夢にも思っていなかった。むしろ何かお手伝いできる事を見つけようと思っていた。それが想いに反して、日毎、急速に進む視力の低下で世話になり始め、半年余りの間に室内での人々の顔はおろか姿も視界に映らなくなった。この現実の追認に自分が追いつかないでいる。今は週二日送迎いただいて文字の代読をしていただく事が自分の日常を賄う基になっている。

管理者の松田正さんの健やかなエネルギーの流れの中で、三人のスタッフを加えた計四名の友人たちが実にドラマチックな響きを奏でて、またたく間に一日が過ぎていく。いつか美しいハーモニーになる楽しみをほらんだ母体の胎動に身を置き、自分もそのエネルギーの分子の働きとして楽しんでいる。

スタッフの一人が時折、御里のご兄弟にねだって送られて来た琵琶湖のウナギを今日の昼食にごちそうになった。食材への調達にも気を配り、安心・安全の追求を柱としている生協から購入し、地元の無農薬を心掛けてつくられた野菜、豆腐、卵等々、うれしくありがたい。

開所一年余り、利用者は身体障害者（重度）、高齢による心身活動障害、手術後の後遺症、薬害後遺症、視力障害者……、と人生模様的一端さながら。利用者の手助けをする四名のスタッフは、自身達が問われるドラマを繰り広げながら、一人一人が利用者のケアに懸命に心を砕き、学びながらの毎日が利用者の「ありがとう」に支えられ、報われている。特色ある「みんなのおうち」は「じゃがいものおうち」の理念を形にしてゆく過程の一つの姿。スタッフも利用者も陰で支えるすべての人々の協力のもと、幸いとなる日々であろうと念じつつ“ありがとう”が交す感謝の中で今日も合掌。（大原貞子）

## 実地指導

開所して一年ちょっと過ぎた8月26日、熊毛支庁から三人の係官が来られ、実地指導を受けました。午後1時半から4時まで、主に職員の資格や勤務状況、介護報酬の請求が適正に行われているかのチェックが行われました。求められる書類を次々に提示し、実に細かいところまで見ていただき、単純なミスなどいくつかの指摘を受けましたが、とてもいい勉強になりました。試行錯誤の連続でここまで来ましたが、『まじめに取り組んでおられます』と言われ、ホッとしたところです。（松田正）

## お便り紹介 ～ボランティア体験～

この夏、母の薦めで屋久島へボランティア体験をさせて頂きました。私は自然環境について興味を持っている事や、母が5月に屋久島へ行き、とても良い所と聞いて行くことを決意しました。



屋久島のボランティア体験は様々あり、どれも私にとって初めての事ばかりでした。特に、「じゃがいものおうち」の皆さんとタンカンジュースのラベル貼り作業や、「屋久の郷」のレストランで働いた事は、私にとって貴重な体験となりました。一人一人が自分の個性を生かし働いている姿はとても印象的で、一緒に過ごして楽しかったです。他にも様々なボランティア活動をさせて頂き、毎日大変でしたが良い経験になりました。この体験を今後の自分に生かし、勉強していけたらいいと思います。ボランティア以外にも、縄文杉登山や屋久島の観光名所を見てまわり、充実した日々を過ごすことができました。

今回、私に協力して下さった楯さん、高見澤さんを初め多くの方々に感謝します。本当にありがとうございました。

（新潟県三条市 坂内真由美）

↑「みんなのおうち」で古屋さんに囲碁を教わる坂内さん



# 行事報告

## ☆おおほらかい

7月14日(火) 農園見学会 「田中農園(原) & 塚田農園(安房)」(20名参加)

当日は、お天気に恵まれ大変有意義な1日となりました。特に、田中農園の自然農法に辿り着くまでのご苦労や塚田農園の屋久島でのマンゴー栽培の先駆けとなられるまでのご苦労には頭が下がる思いでした。なおその際、ご馳走になったタンカンジュースや漬け物、マンゴーの美味しさに参加者全員大満足!! ありがとうございました。

8月25日(火) 講習会 「健康について」 \*一人で出来る筋膜マッサージなど(19名参加)

町の保健師さんから「健康について」のお話があり、筋膜マッサージの指導が始まると、その絶妙なトークによる実技指導は笑い痛くすぐったいの連続で、楽しいなかでの意義ある講習会でした。参加者の皆さん!是非、自宅でも続けて下さいね! また、田中ヤスヨさんの被爆体験のお話は、その当時の悲惨な状況が生々しく伝わってきて、胸が締めつけられる思いでした。

「ノーモア広島!長崎!」 戦争のない世の中にしたいものです。

9月15日(火) 茶話会(14名参加)

生活習慣病など健康問題について話し合い、最後にアカペラで楽しく歌って終了しました。(高見澤義男)

## ☆人形劇 8月1日(土)

宮之浦の離島開発総合センターで人形劇団ひとみ座の「あやうしズッコケ探検隊」が上演されました。会場はほぼ満席に近いほどのお客様が来て大成功でした。「じゃがいものうち」の仲間たちはお客様がスムーズに席に着けるよう案内や誘導をしました。また会場入り口に置かれたみんなで作った大きなポスターが花を添えました。

障害者だけの活動ではなく、地域活動の中に積極的に参加する事が出来て良かったです。

後日、見に来た人達からその姿に感動したと聞き嬉しく思いました。(楯篤雄)



ました。

(楯篤雄)

## ☆尾之間温泉祭り出店 8月1日(土)

スタート直前、雨の歓迎?に会いましたが、恒例の「尾之間温泉祭り」に出店しました。今年は店の位置が一番奥で、客足が気になりましたが、ジャガコロについては相変わらず長蛇の列が出来ました。ジャガコロ一筋、「継続は力なり」と痛切に感じました。出店に参加してくれました会員の皆様お疲れ様でした。出店者の中でもワイワイ、ガヤガヤとひととき目立っていますが、この頃は妙に祭りの景色に馴染んでしまっているように思えます。尾之間の祭りに参加させて頂きもう6年、私たちの活動への理解がここからも少しずつ広がっていると感じ

## ☆お楽しみ感謝祭 8月29日(土)

会員の皆様、ボランティアの皆様には春先よりタンカンジュース作りに始まり、ウコン、ガジュツ、じゃがいも掘りと数々の作業に参加して頂き、お疲れ様でした。

ゆっくり慰労の出来る場がなかなか持てませんでしたでしたが、尾之間の管理センターをお借りしてささやかながら開催出来たことでホットしました。視力に障害のある日高ユキ子さんの踊りや中井喜恵子さんの三味線と歌声、カラオケの時中井さんの傍らに立った高山さんが耳元に歌詞を告げる。あのときの高山さんは中井さんの目でした。何気ないその姿に舞台袖で見てた私は妙にこみ上げる物がありました。

入れ替わり立ち替わりマイクを握り、歌って踊って和やかなひととき。あらかじめテープ持参で来た人、飛び入りでも馴染んでしまうフラダンスは、アンコールされるほどキョーレツでした。

みんなが憩い、楽しめる感謝祭！ またやりましょう。

( 楯篤雄 )



## ☆豚味噌作り 7月15日(水)

ぼんたん館加工室にて作業員14名でようやく豚味噌の初仕込みをしました。昨年1月に仕込んだ麦味噌も十分な熟成を迎え、色も黄金色の輝きを放っています。まずは初仕込みゆえ、ほどほどな量で仕込みました。約250個の瓶が出来上がり、あとはラベル等の装丁が終わると発売になります。

屋久島産黒豚タツプリの「豚味噌」みなさん買って下さいねー！

( 楯篤雄 )

## 行事予定

### ☆じゃがいもの植え付け

10月末に行う予定です。(後日連絡します。)  
福祉交流会として安房小6年生も参加します。



### ☆おおほらかい

10月27日(火)・11月24日(火)午後1時30分～  
みんなのおうち \*「茶話会」を行います。  
12月15日(火) 正午～15時  
みんなのおうち \*「忘年会」を行います。

## ニューフェイス紹介

今年度より、じゃがいものおうちの会計事務をすることになりました。  
2008年12月9日生まれの長女 紬つむぎ(男顔ですが女の子です!)と一緒に、週3日(月、水、金)通っています。会計については発展途上の私と、手のかかる紬を暖かく迎え入れて下さり、本当に感謝しています。

つたい歩きをし始め、あちこちかきまわして歩く紬も、たくさんの人たちにかわいがられて、私も楽をさせていただいています。事務所で地味にお仕事してます。喫茶にお越しの際は、紬にちょうかい出して行ってくださーい。(相良知恵)



## 手をつなぐ育成会便り

毎年9月は発達障害福祉月間ということでキャラバン広報をしています。地域の方々に発達障害者(知的障害)のことを理解して頂くために一軒一軒歩いてリーフレットを配っています。

ここ数年は鹿児島や、種子島の施設に入所している人達がお盆に帰省するので、それに合わせて親子交歓研修会を開き、キャラバン広報も同時に行います。そしてその時の様子を町の広報誌9月号に掲載してもらい、より多くの方々の目に触れるようにしています。昨年、宮之浦に就労継続支援施設「屋久の郷」ができました。

大変うれしいことです。しかし今は家から通えますが、親の高齢化を考えると家となる「グループホーム」の設立が急がれます。

障害者が自立するには「働く場と家」が必要です。

毎年リーフレットを配っているのですが、文章から理解を得るにはなかなか時間のかかるもので、今日明日の暮らしをどうするかと切実な思いの我々には時間があまりありません。まず必要と思う私たちが働きかけをし、理解してくれている方たちや行政の協力を得て実現していこうと、育成会は動き始めました。(楯篤雄)



## 街かど情報コーナー 【地域の話】

日本では46年ぶりの皆既日食、ここ屋久島は絶好の観測スポットです。世界中からのお客さんが大勢押し寄せてくるぞ!とその準備に町も忙しそうにしていました。

目の前のグラウンドが町指定の観測場所として指定されており予定では1500人は集まると言われておりました。「じゃがいものうち」も、この夏の暑さの中じーと空を仰いでいるわけだから、きっと喉が渇く、冷たい物を欲するはずだ、熱射病対策にもなるしと、大量のジュース、お茶を仕入れました。ところが・・・あいにくの天気。空は厚い雲に覆われ時折の雨風、「温かいお茶が欲しい」の声も上がり、待ってても来ないお客に作戦を急きょ変更し、ボランティアの大学生に頼み行商をしました。



そんなこんなで皆既日食便乗商売は惨たんたる結果でしたが、雲の上の皆既日食は地上へ真っ暗な夜を与えてくれました。お昼時にJRホテルの照明や外灯が点灯、走る車はヘッドライトを点灯していました。暗がりの中、会場のあちこちから感動の雄叫びがあがりわずか4分間の天体ショーは幕を閉じました。次の皆既日食は26年後。79歳の私は「日食かき氷」でリベンジしよう!

(楯篤雄)

## 会員の更新

(9月17日現在)

いつも温かいご支援ありがとうございます。

(一般会員)

佐々木澄江さん(宮之浦)

山田圭一・由紀子さん(平内)

## 新会員紹介

~みなさん、よろしく~

(賛助会員)

岡野道子さん(安房) 小林浩治さん(麦生)

坂内久仁子・真由美さん(新潟県三条市)、

福島哲雄さん(宮之浦)

## 柴堯子さん今までありがとう、ご冥福をお祈りいたします



7月18日午前1時過ぎ、柴さん(享年62才)は静かに天国に旅立っていきました。いつも「がんばるからね」、「良くなったら“ペペロンチーノ”を食べに行こうね」と話していました。何年もの間、腹水を抜きながらも彼女は元気になることを信じて、がんばっていました。そんな彼女が今年になり、一週間ぶりに会ってもその違いがわかる程段々やせていく姿が早くなりました。

「がんばって」いる彼女を見て、私は決して「がんばって」とは言わないでおこうと思っていました。でも亡くなる1~2ヶ月前くらいから、思わず「がんばって」「まけないで」と言ってしまいました。そうすると、とても優しい顔でニコッと笑って私を見てくれるのです。

我が家には柴さんの娘さんがいます(ねこのみいちゃん)。柴家ではとてもかわいがってもらっていたようです。みいちゃんにもわかっていてみたいです。きっと柴さんが会いに来たのでしょう。

堯子さん、やすらかに眠り下さい。あなたの最後の笑顔をお忘れません。

(渡辺まみよ)

## ☆助成金

6月中旬、鹿児島県生命保険協会から資金助成をしたい旨の連絡を頂き、事務局の整備充実を図るためにPC購入を予定していることを告げ話を進めたところ、了承を得たので下記のものをご購入させていただきました。

1. ノートパソコン(会計専用)
2. デスクトップパソコン(耐用年数の近づいていたじゃがいものおうちの次機PC)
3. デスクトップパソコン(みんなのおうち用)
4. ファックス(みんなのおうち用)
6. カラーレーザープリンター

7月29日には、じゃがいものおうちで目録の贈呈を受けました。資金的に苦しい思いをしている中、とてもありがたいことで、地域の皆様に喜ばれる様々な活動に、より一層励まなければと思いました。(松田)

濃厚な果汁がたっぷり

**タンカンジュース**

**1本850円** (会員価格600円)

今年からキャップシールをつけました。

売れてます!

**春ウコン・秋ウコン・ガジュツ**

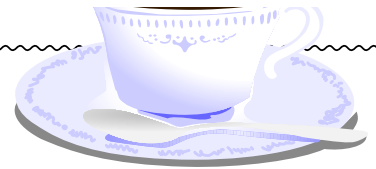
1パック **100円** **600円**

※地方発送致します。(送料、振り込み手数料別)

**会員を募集  
しています**

「じゃがいものおうち」では屋久島の障害者福祉の為に様々な活動をしています。安心して暮らせる地域づくりにあなたも参加してみませんか。

## 喫茶コーナー



### 「1年を振り返って」

喫茶の方でお仕事させていただくようになり、8月で丸1年を迎えました。

おしゃべりが苦手?な私に勤まるか不安でしたが、周りの方々に支えられ何とかここまで来たという思いです。毎日欠かさず「ヨッ!」と言って入ってこられるMさん、自作のお菓子を差し入れしてくださるIさん、タンカンやポンカンを持って来てくださり、とりとめの無いおしゃべりをして「また来るよ!」と帰って行かれる方・・・「診療所の帰りに寄ってみたの」と入ってきてくださる方、いろんな方がおられますが、



本土から屋久島に嫁いで50年以上という方から嫁いだ時の苦労話を聞いたときは、涙したものでした。

喫茶なんですが、他にも石鹸や洗剤、リサイクル品の販売、ウコン類やタンカンジュースの注文依頼も受けていて遠くは北海道からもあるんですよ。『じゃがいものおうち』はメジャーなんです。

私は月・火の担当ですが、月曜日は事務担当の相良さんと娘さんの<sup>つむぎ</sup>紬ちゃんも来るので賑やかにやっています。

みなさん、遊びにきませんか?冷やかし結構。お待ちしております・・・』 (安藤多鶴子)

「鹿島浩二さんの作品」

## 感謝録 (6月17日~9月16日 敬称略)

いつもご支援、ご協力ありがとうございます。(じゃがいものおうち、みんなのおうち)

木下忍 日高チズ 岩川ミヤ 野元イツ子 川上雄二(海友) 山田怜子 桑山道子 古居智子  
戸床マサ子 大原貞子 須見ご夫妻 星野京 長谷部なほ子 永留佐代子 山本章代 榎陽子 塚田哲夫  
古居一男 高山宏子 鹿島浩二 野中幸子 松本活栄 羽田順子 稲場輝雄 谷本正和 古屋芳子  
金子英一 高橋久子 黒飛淳 斉田克枝[(故)柴堯子さん実妹] 溝口康昭 長瀬富美子 飯田かおる  
和田勝子 日下部周子 河井麻里 伊藤ミキ 山田由紀子 大久保英美子 日高ユキ子 相良知恵  
酒井美穂 畑下和子 有川洋子 松本久雄 廣里いおり 松本三枝子 松本裕子 兵頭昌岳 遊佐さえ子  
太田美代子 新里綾子 鈴木捷二郎

## 編集後記

質問され、答えようとする事で、普段なにげなく使っている言葉を再認識する事になると思います。あらためて「福祉」を考えてみようという目的で、「福祉って何?」を今回の通信のテーマにしてみました。様々なとらえ方がありますが、この通信を読んで頂いてる方もぜひ今一度考えてみて下さい。朝晩ずいぶん涼しくなり過ごしやすくなりましたが、風邪には充分気を付けてくださいね。(榎篤雄)